

ているらんぷ

第9号(2018年8月発行)



第6回総会と 府大戦



<掲載内容・第6回総会特集>

2頁	はじめに	15~19頁	参加できなかった方からの近況
2頁	総会報告	19頁	編集後記
3頁	総会風景	20頁	幹事、役員紹介
5頁	会長挨拶	20頁	60周年記念イベントのお知らせ
6~8頁	活動、会計報告		
9~12頁	現役の活動報告		
13頁	ドライブツアー計画		
13頁	出席者からの近況報告		

<はじめに>

編集担当 佐々木 (1968年入学)

猛暑の夏、残暑お見舞い申し上げます。

「ているらんぷ」復刻版第9号が出来上がりました。今号は第6回総会特集号です。創部60周年記念行事を半年後に控え、去る7月22日(日)、若者の街・渋谷の繁華街にほど近い同窓会共有スペース「八雲クラブ」で、お陰様で軌道に乗ってきたOB・OG会活動の1年の締めくくりが行われました。懇親会には、女子部員3名を含む現役部員が多数参加し、益々広がりを感じさせる現自動車部の現状報告があり、OBと現役部員との情報交換も大いに盛り上がりました。

その概要を写真とともに分かり易く編集いたしました。

ご高覧頂き、これをきっかけにより多くのOB・OG会員の皆様が「60周年記念パーティー」に参加されることを心より期待しております。よろしくお願い申し上げます。

第6回 東京都立大学・首都大学東京自動車部OB & OG会総会

開催日時:2018年7月22日(日) 15:00 ~15:30

会場: 首都大学東京同窓会 八雲クラブ 10階会議室



第6回総会に出席したOBと現役部員

< 総会風景 >



会場があるマンション（渋谷）



受付と寄付金（？）



会長挨拶



総会





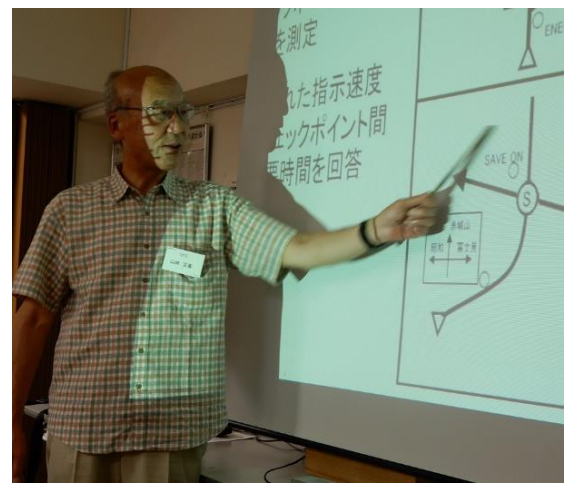
懇親会スタート



現役 11 名参加 (女子部員 3 人含)



現役学生からの活動報告



コマ図でドライブ会説明



応援歌斉唱

中締め

< 第 6 回東京都立大学・首都大学東京 OB&OG 会総会式次第 >

1. 開会の辞 小島副会長
2. 会長挨拶 岡崎会長
3. 議題
 - (1) 第一議案 2017 年度活動報告
 - (2) 第二議案 2017 年度決算案・監査報告、決算案の承認
 - (3) 第三議案 2018 年度の活動方針
 - (4) 第四議案 2018 年度予算案
4. 閉会の辞 小島副会長

第 2 部 懇親会

開催日時:2018 年 7 月 22 日(日) 15:30~18:00

1. 開会挨拶
2. 乾杯
3. 現役部員からの報告
4. 事務局からの報告・連絡事項
5. 出席者の近況・提案
6. 応援歌斉唱と集合写真撮影
7. 中締め

< 会長挨拶 > 岡崎 (1968 年入学)

皆様こんにちは、暑い中お集りいただきましてありがとうございます。この会も 6 回目になりますが、本年は、60 周年という記念行事を控えたためか、総会としては参加者が少なくなりました。

この部は、昭和 33 年 10 月に設立された工学部自動車研究会という同好会から始まり、その後、体育会自動車部として約半世紀を経て現在に至っております。今年度は、先輩や後輩その間に在籍されていた方々とその歴史を振り返り、時間を共有していきたいと考えています。部の歴史という事で、何年に府大戦で勝った負けたとか遠征に行ったという事も記録としては重要ですが、それだけだと単なる記録になってしまいます。

この 60 年間では自動車の発達と普及というのは目覚ましいものがありますが、モータースポーツはそれほど身近なスポーツというにはなってきませんでした。そのあたりに自動車部の混迷というか、部員が増えなかった事も影響しているかもしれません。ただし、その時代時代でこれをやりたいどのような活動をしようかと種々努力されてきていることで、継続して部が存続している訳です。各年代において自動車に対するあこがれや運転にかけた思い、部の方針などは異なっているはずですが。その内容を何とか探し出して記録として留めることは、自動車の発達とそれに乗って活動してきたことを時間の流れとして若い OB&OG 会員や現役の部員に伝えていくことになり大事な事と

思います。

会社生活は長いですが、学生生活は普通 4 年間ですので先輩後輩といっても関わるのは前後数年と短いです。卒業後は OB&OG 会という中で知り合いを増やし、会社の事や自動車について同好の士として交流が深まるようになれば、生活していくうえでまた違う事に気がつくかもしれません。

今年度はそのような事に取り組んでいきますので、今後ともご協力をよろしくお願いします。

<2017 年度の活動報告> 副会長 河本 (1970 年入学)

2017 年度の活動を報告いたします。

・幹事会； 6 月、10 月、11 月、2018 年 1 月、3 月 5 回実施しました。

ほぼ毎回現役の学生も参加して、その後の居酒屋での 2 次会が恒例になっています。

・ドライブツアー； 11/12-13 ラリー形式 榛名、赤城方面で実施しました。3 台 8 名の参加でした。昔の懐かしい林道ですが今では立派に舗装された道を安全な速度(?)で走っています。毎年実施しますので多くの方に参加していただきたく思っています。一日目の終わりは山の中の温泉で宴会となりました。

・講演会； 11 月 元ブリヂストン モータースポーツタイヤ開発本部長 浜島 裕英氏
F1 でのタイヤ競争や F1 ドライバーのマイケル シューマッハ氏との開発内容をお話いただきました。

・新年会； 1/13 渋谷にて実施しました。

・総会／懇親会； 7 月 15 日 大学にて実施しました。OB&OG20 名と現役学生の参加でした。

・会誌 ているらんぷ； 発行 2 回 7 号 8 月、8 号 2018 年 1 月

・ホームページの更新； 随時

・その他； 府大戦ジムカーナ(7 月 筑波サーキット)、ラリーに OB も参加しました。

<2017年度(平成29年4月1日～平成30年3月31日)会計収支報告>

会計担当 坂巻 (1971年入学)

1) 2017年度会計収支報告

収入総額は427,192円となり、支出は主に懇親会費用、現役部員の活動支援で、その総額は307,645円、次年度への繰越金119,547円となりました。

現役部員への支援としましては、昨年度入部した新部員用にユニフォーム3着の寄贈及び府大戦遠征費等に充てられました。

収入の部

(単位:円)

勘定科目	決算額	備考
総会会費	126,000	通常会員21名
寄付金	155,000	
繰越金	99,804	
その他	46,387	講演会残、ドライブ会残、新年会残等
	1	普通預金利息
合計	427,192	

支出の部

勘定科目	決算額	備考
懇親会費	151,396	
現役部員の活動支援	18,108	ユニフォーム代(3着)、銀行振込み代
	100,000	現役部員の支援金(H30年度府大戦遠征費)
イベント準備費	20,390	講演会講師車代・ドライブ会下見費用
印刷費	640	
通信費	3,034	ているらんぷ校正原稿送付料等
ホームページ維持費	6,300	
幹事会運営費	7,777	会場費+お茶代
小計	307,645	
次期繰越金	119,547	
合計	427,192	

<2017年度(平成29年4月1日～平成30年3月31日)>

東京都立大学/首都大学東京自動車部OB&OG会 会計監査報告>

会計監査 小西(1967年入学)

平成30年6月9日

自動車部OB&OG会

会長 ; 岡崎 裕

会計 ; 坂巻 雄二



会計監査の結果、適正に処理されていた事を認めます。

監査 ; 小西 良造



<2018年度 活動予定> 副会長 河本 (1970年入学)

- ・現役部員支援 (資金援助、ユニフォーム制作)
- ・幹事会 6/9、7/14 実施済み, 9/8、1/19、3/9 予定
- ・総会/懇親会 7月22日(日)
- ・ドライブツアー 11月10-11日
- ・会誌 ているらんぷ 発行 2回 9号;8月、10号;2019年3月
- ・創部60周年記念イベント 2019年2月2日(土) 渋谷駅近く 渋谷東急 REI ホテルで開催予定。
- ・その他 学生イベントの夏合宿参加(任意)、追い走参加(任意)

<2018年度会計予算案について>

会計担当 坂巻 (1971年入学)

今年は総会出席者数が例年に比べ少ないことより、収入を少なく見積もり 255,547円としております。支出は懇親会費用、現役部員の活動支援等で、その総額は222,556円、次年度への繰越金 32,991円としております。現役部員への支援としましては、本年度入部した新部員用にユニフォーム4着の寄贈及び来年度の府大戦等への資金援助を計画しております。

収入の部

(単位;円)

勘定科目	H29決算額	H30予算額	備考
総会会費	126,000	36,000	通常会員12名
寄付金	155,000	100,000	
繰越金	99,804	119,547	
その他	46,387	—	
普通預金利息	1	—	
合計	427,192	255,547	

支出の部

勘定科目	H29決算額	H30予算額	備考
総会費用	151,396	43,500	
現役部員の活動支援	118,108	124,756	ユニフォーム代 ; 24,756 府大戦等支援 ; 100,000
イベント準備費	20,390	20,000	講演会講師車代・ドライブ会
創部60周年記念事業準備費		10,000	
印刷費	640	5,000	
通信費	3,034	3,000	
ホームページ維持費	6,300	6,300	
幹事会運営費	7,777	10,000	会場費等
小計	307,645	222,556	
繰越金	119,547	32,991	
合計	427,192	255,547	

<現役部員からの活動報告>

現役生による去年・今年の活動内容と、今後の活動予定について記載させていただきます。今回原稿編集させて頂いたのは、去年入部しました4年の空岡です。

府大戦



まず直近の活動内容としては、西日本豪雨を浴びながら無理矢理強行しました府大戦です。体育会全体での競技の勝敗付けは中止で親善試合に切り替えられ、事実上の府大戦中止となりました。府立大に向かう道中では、西名阪国道を走るトラックはお構いなしにビュンビュンとぼすためその水しぶきと風圧で走行は困難でしたが、夜通し突っ走ってなんとか到着し、ドライバーの回復を待って午前10時頃から泉大津フェニックスという広場にてジムカーナを行いました。

ジムカーナとは、複数のパイロンを設置し決められたコースをいかに速く走れるか競う競技です。当日、路面は超ヘビーウェット。しかし選手達は、タイム計測をする本番の午後4時まで積極的に練習に励みました。



首都大の出場者をご紹介します。写真左から、津金(セリカ)、池田(Vitz)、森(S15)、主将の伊東(ZC32)です。(写真一番右端の私のバモスは、サービスカーのため不出馬です。)

順位	エントラント名	首・府	車種	補正後タイム(秒)
1	伊東	首	ZC32	65.8
2	大倉	府	S2000	68.4
3	JK	府?	EF9	70
4	津金	首	セリカ	70.2
5	MC グチヤマ	府	DC2	70.5

6	池田	首	Vitz	72.5
7	AZM	府	フィット	73.6
8	リヒト	首	S15	75.6
9	荒潮	府	FD2	79.1
10	ひろき	府	チェイサー	82.7
11	志賀	首	セリカ	105.2

なお、対戦人数が不釣り合いのため、志賀(ZC32)、新入生の鳥取(エントリー名 AZM のフィット)、同じく新入生の平原(津金のセリカ)も参戦しました(平原、鳥取のタイムは換算せず)。

結果を申しますと…引き分けです！運営する府大側の発表によると、順位ごとのポイント制らしいです。主将の伊東が、ダントツ 1 位のタイムを叩き出した上に、初ジムカーナにも関わらず励んでくれた新入生たちに賞賛です。

二日目に行う予定だったラリーは、大雨による土砂崩れで高野山の一部が通行止めとなっていた為に中止となりました。天候に恵まれないどころか西日本豪雨による被害は朝のニュースで毎日見るほど甚大なものでした。しかし無事全員、東京まで帰着できました。

帰りの明け方頃には美しい朝日を見られてホッと一安心し、なにより安全が第一だと再認識する二日間でもありました。

軽耐久

大学主催の定期戦だけでなく、現役生は一チームとして大会にも出場しています。「軽 one 耐久レース」という年 3 回シリーズ戦で行われる軽自動車対象の耐久レースです。

このレースに参加し続けているきっかけは、今年卒業された先輩方が出場されていたことです。彼らはダイハツ エッセで、K-A クラス、学生クラス、そして、シリーズチャンピオンとして 3 冠、優勝トロフィーを頂いています。



K-A クラスでは改造してもよいとされる箇所が多いのに対し、私たち現役生が出場しているのは N-N クラスという改造が厳しく規制されたものです。去年の車両 1250v ミラバンから、OB&OG 会員様の支援金で ha23v アルトに乗り換えました。以前と比較して車重・馬力ともに優れた性能を持つ車両です。この車両でレースで良い結果を残そうと思っています。ご支援頂きありがとうございます。

ます。

今年度の大会は、3月、7月、9月に行われ、5時間走り続けるレースとなっています。3月の耐久レースは、部品脱落の修理のため1時間ストップした為、7台中5位という結果になってしまいました。複数人での整備の場合、互いに状況確認を行い、そしてトラブルも予測し対処できるような体制をとり、7月、9月に臨みます。

これからも毎レース継続して参加し、K-Aクラスへの移行も測っています。今後とも、応援のほど、宜しくお願い致します。

1. 状況 前年度について

- 2台体制で参戦

上級生は
→ダイハツ エッセ



下級生は
→ダイハツ ミラ



1. 状況 今年度について

- 上級生引退により、1台体制で参戦

高性能車に変更
→スズキ アルト



B2からM2まで
幅広いメンバーで参戦



2. 参戦している大会 どういう大会か

- 開催場所
⇒本庄サーキット(埼玉県本庄市, 1周1kmのミニコース)
- レース形式
⇒5時間の耐久レース, 年3回のシリーズ
- 出場クラス
⇒改造範囲の狭い, N-Nクラス
- 主な参戦車両
⇒スズキ アルト
⇒ダイハツ ミラ etc...
- 参戦台数
⇒10台程度



4. 前年度大会について 2017年10月

- 「本庄軽one耐久エキシビジョン第一戦」
※N-N(無改造)クラスのみ
- 結果
 - 予選: 3位 / 6台中
 - 決勝: **リタイア**
※最終ラップまで2番手走行
- 現状
 - ドライバー的には、**安定して周回**することができた
 - リタイア原因は最終周でのクラッチブロー
⇒いかに車両を**完走**させるかが課題



5. 今年度大会について 2018年3月

- 「本庄軽one耐久5時間レースN-Nクラス第一戦」
- 結果
 - 予選: くじびきで決定
 - 決勝: 5位 / 7台中
※部品脱落まで**一番手走行**
- 現状
 - 技術面の安定に加え
 - 足回りのセッティングが向上
 - 部品脱落により、修理の為1時間ストップ
⇒同様のトラブルを二戦連続で起こした



5. 今年度大会について 2018年7・9月

- 「本庄軽one耐久5時間レースN-Nクラス」
 - 今後の第二戦(来週)・第三戦(9月)では
 - 現地で練習を重ね安定かつ速く走らせる
 - メンバー全員が乗りやすい足回りをさらに追求
 - 車両トラブルを0にする
- により**優勝しシリーズチャンピオン**狙う

6.今後の展望

- 耐久レースを年間スケジュールに組み込み
毎レース**継続して**参戦する
- より上位のレースへ**ステップアップ**する
- 現在のN-Nクラスを制覇後以下を検討
 - ☞ K-Aクラス(改造あり)の移行
 - ☞ K4GP(富士スピードウェイ本コース, 7時間)



7.支援への感謝

- 昨年のご支援頂きありがとうございました
- 昨年に頂いた支援の結果
スズキアルトを購入し活躍してます
- 私たちは、レースでの消耗品や上位カテゴリーへの移行に資金を必要とします

今後とも支援をよろしくお願いします



夏合宿

そして、夏休み 9/14(金)～9/16(日)に恒例の合宿を行います。場所は、毎年同じで新潟県妙高のスキー場駐車場を一面借りて行います。広い土地を借りるため、普段練習できないサイドターンや、ドリフトの練習にも専念できます。新入生にとっては先輩方の車に横乗りしたり、ときには運転もさせてもらったりもして、初めてとなる体験がしばしばあると思われます。

毎年OBの方々も遠方から来て走ってくださるので、現役生にはとても良い刺激になります。是非ご参加のご連絡をお待ちしております！



以上

<2018ドライブツアーのご案内>

企画担当:山崎 (1972年入学)



総会で2018年度のOB&OG会ドライブツアーを提案しました。概要としては;

日時:11月10日(土)~11日(日)

エリア:伊豆方面

形式:コース図に従ったラリー形式のドライブ。指示速度が設定され、チェックポイント間の所要時間を回答する。

となっています。

コース概要は韮山反射炉スタートで、修善寺虹の郷でODを取り、戸田峠へ登って西伊豆スカイラインを南下します。その後は湯ヶ島へ下り、後半は国士峠を越えて冷川から奥野ダムをへて大室山を半周し、一碧湖から川奈を經由して東海岸の城ヶ崎海岸でフィニッシュの約100kmです。

宿泊は更に南に下って熱川温泉を予定しています。

<総会出席者の近況報告>

東京都立大学は復活するか?

安永 (1969年入学)

7月22日の自動車部OB&OG会の何日か前にパソコンでネットを見ていたら、「東京都立大学」が復活か?都政に翻弄される首都の大学という記事があり、大変驚きました。

記事は「IT media ビジネスオンライン」というネットに書かれていました。(私は

時々見ているホームページです。)

記事の内容は次のとおり。

「東京都立大学」が復活するかもしれない。首都大学東京はこのほど、大学の名称について「検討を進めている」ことを明らかにした。きっかけは小池百合子都知事の提案だ。

小池知事は7月12日、都政改革本部の席上、首都大について「都が設置する総合大学であり、質の高い教育や卓越した研究力に磨きをかけ、その成果をこれまで以上に都政へ還元して欲しい」と注文をつけた。

その上で、「認知度を高めるために、ブランディング戦略の一つとして、大学名を変えるくらいの大膽な改革をスピード感を持って取り組む必要があるのではないか」と提言。「都立の大学であるということを都民の方々にわかりやすく発信するために『東京都立大学』も一つの考え方としてあるが、いかがか」と述べた。

「東京都立大学」への名称変更もアリなのではないかという提案だ。この発言に対し同大は「法人(公立大学法人 首都大学東京)としては、現在対応についての検討をすすめております。状況が確定次第、速やかに皆様にお知らせします。」と告知した。何らかの結論が出るのは間違いない。

ただ、過去の経緯を知る大学関係者は複雑な表情に違いない。1949年に都の公立大として設立された「東京都立大学」が激動に見舞われたのは2003年。石原慎太郎氏が2期目の当選を果たして都知事に就任すると、都立4大学(都立大、都立科学技術大、都立保健科学大、都立短大)を統合した新大学について、「新しい大学」の構想を掲げて推進した。

新構想では人文学部が消滅するなど、それまでの合意が反古になる形になったため、方針に抗議して辞職する教授も現れるなど、同大は大いに揺れた。

新大学の名称は公募にかけられたが、最多だった「東京都立大学」は見送られ、4位の「首都大学」に「東京」をつける形で決まり、2005年に同大が新設された。同時期に石原氏の肝いりで誕生した「新銀行東京」も、末尾が「東京」という珍しい名前だった。

「都立大学」の名称は東急東横線の駅名に残っているのみ。現在は「首都大」も定着し過去も知らない若者も多いだろう。

ここに来ての「都立大」への現知事からの変更提案だ。実は小池知事が代表を務めていた「都民ファーストの会」の政策には「首都大学東京の名称を再検討し、都民に身近な大学へ改革」とあり、これを実行に移した形だが。

首都大の告知を受け、「東京都立大学」がトレンドに入った Twitter では、都政に翻弄される同大に同情する声や、復活するかもしれない「都立大」、消滅するかもしれない「首都大」それぞれの卒業生らの複雑な思いが投稿されている。

次は朝日新聞 7/20 のネット記事から一部抜粋、

大学が昨秋、学生を対象に行ったアンケートでも、「改善してほしい点」として46%が「大学名知名度」とこたえ、最多だった。学生からは「首都大の名前を企業が知らないことがある」「就職活動で不利」といった意見も出ている。

関係者によると、教授や卒業生らの間では「『都立大』のほうが分り易く、戻してほしい」と期待す

る一方、「知事に言われたから変えるというのも疑問」との見方もあるという。

7/22 の OB&OG 会に出席していた現役部員 (11 名) に聞きました。

首都大学東京のままがいいのか、東京都立大学がいいのか？

挙手してもらいましたが全員東京都立大学でした。(一名は手の挙がりが遅いようにみえましたが)

部員の声は、周囲の人たち(親戚とか)に首都大といってもわかってもらえない、以前の都立大というところとわかってもらえる、ということでした。

実に分り易い意見でした。

新銀行東京も変な名前でしたが、結果は大迷惑のひどいものでした。

首都大学東京も早めに結論を出したほうが、これからの東京のためにも世の中のためにも良いと思いました。

<総会に参加できなかった方からのメッセージ>

山口(元)

TMUAC OB&OG 会には大変ご尽力をなさっておられることに敬意を表します。

当方体調すぐれず過ごしております。と言いますのも 7 年前の不整脈アブレーション手術後の再発が認められるようになり体調管理をいたしているところです。今年の初めごろから動悸が顕著になり、以後外出も最小限にしております。

自動車部 OB の一部の集まりに毎年新年会の誘いを受けております。坪井氏がキャプテン時代の OB と、一期後の小佐野氏がキャプテン時代 OB の集まりです。今年は坪井氏逝去の報を受けてのお誘いでしたが体調不良のため欠席いたしました。

小佐野氏、高田氏は第 1 回、私と大下氏は第 2 回、坪井氏は第 3 回の OB 会に出席することで、河本さんはじめ OB&OB 会の執行部の皆さんはご認識いただけるかと思えます。

特に坪井氏は第 1 回都立大ラリーのキャプテンということは OB&OG 会に出席された際にお話があったことと思えます。総会の写真を拝見した際には大変お元気そうでしたが、大下氏から訃報の知らせをいただき大変驚いた次第です。

つきましては、高齢(78 歳)に加えて現状体調が思わしくないため、7 月の総会並びに来年の TMUAC 創部 60 年という記念行事に出席できませんこと、関係各位には何卒よろしくお伝えくださるようお願い申し上げます。

体調回復の見込みができましたらあらためてご連絡を申し上げます。

戸部

同じ日にすでに予定が入っていますので、欠席させていただきます。皆さんによろしく。

岡本 1955

老齡故、夕刻(明るい時刻)までに、帰宅できない時は、どなた様にも、失礼させていただいて、おります。

渡邊 1955

申し訳ありませんが欠席させていただきます。

君塚 1955

高齡になりましたので、失礼致します。

福地 1959、小佐野 1966、高橋 1967、田上 1968、西(雄) 1968

欠席させていただきます。

小河 1967

7月22日は都合が悪いため不参加でお願いします。

小島(俊) 1967

当日所用があり、参加できません。盛會を祈念しております。

豊島 1967

当日、親戚の法事で四国の方に出かけるため、欠席とさせていただきます。

森田 1967

申し訳ありませんが、欠席でお願いします。

江間 1968

残念ながら私用にて出席できないと思いますので欠席としてください。

吉田 1968

北海道へ出張中で参加できません。皆さんに宜しくお伝え下さい。

伊藤 1969

来年2月の式典は、ぜひとも出席したく考えております。盛會を祈念いたします。

甲田 1969

実はこれまで介護してきた母親が、昨年暮れに老人ホームに入所したので、時間的に少し余裕ができました。したがって、今年は出られるかなと思っていたのですが、前日の夜に教え子の学年同窓会が開かれることになり、恩師として声がかかりました。2日続けて出かけるのは体力的にもちょっと不安で、今年は教え子の方を優先させてもらいます。式典にはできるだけ協力して参加したいと思っていますので、準備頑張ってください。

近藤 1969

相変わらず仕事が忙しく、全く余裕のない生活をしています。

佐藤(規)1969

同期会で4月の蓼科に続き10月にもそちらへ参加しますので、総会の方は失礼いたします。

篠 1969

既に予定が入っているため、会合には欠席いたします。

柴沼 1969

別件があるため、申し訳ありませんが参加できません。皆様に宜しくお伝えください。

竹本(純) 1969

篠、安永、小島、柴沼、佐藤規さんたちとは4月に一緒にゴルフをしました。@信州茅野

赤染 1970、西 1970、平山 1970、中台 1970

欠席でお願いします。

配野 1970

現在体調があまり良くないので、欠席とします。

藤村 1970

当日は所用があるため、申し訳ありませんが欠席します。

山崎(野須) 1970

当日は予定が入っており、欠席させていただきます。

小俣 1972

下水道展示会準備のため、総会参加できません。今年は北九州市で開催します。弊社ブースもそれなりに準備しました。何とか成功させたいと取り組みました。というわけで参加できませんが、皆さんによろしくお伝えください。梅雨とはいえ、猛暑続き、ご自愛ください。

鈴木 1972

大変恐縮ですが今回は参加が叶いそうになく、欠席の連絡を申し上げます。

濱田 1972

ヘルニアの手術で入院のため欠席させていただきます。歳をとると色々ありますね～…

北村 1973

現在 母の介護のサポートに専念しており、誠に申し訳ありませんが、その方に注力したいので欠席させていただきます。

白井 1973

自営業のため、今だに現役です。22日は都合により不参加でお願いします。

峯 1973

業務の為参加出来ません。

永嶋 1975

やりくりしてみたけど、日程の調整がつきませんでした。いつも欠席ばかりで申し訳ないです。皆さまによろしくお伝えください。

小林 1976

相変わらずの上海駐在でして出席が難しい状況です。悪しからず御願いたします。なお2/2の60年式典には、なんとか出席すべく努力いたします。

佐藤(康) 1976

都合により欠席させて下さい。

山田 1976

業務出張予定が入っているため、今回は欠席とさせていただきます。盛会をお祈りするとともに、明年2月の60周年記念式典への参加を楽しみにしております。

山内 1978

前々からその日は孫の子守りを頼まれていて、これも私の年代では一つの役割なのかな〜と思います。60周年の式典は何とか出席したいと思います。皆様によろしくお伝えください。

藤崎 1982

申し訳ありませんが「欠席」とさせていただきます。60周年記念式典は参加したいと考えています。

小淵 1994

都合により欠席させていただきます。現在、母親の介護で家から離れることが出来ないため誠に申し訳ありません。

島村 1995

今年から海外勤務しているため総会には参加出来ませんが、皆様のご活躍を期待しております！

田中(千) 1998

今年も帰国することができません。いつか参加したいと思っています。近況と呼べるほど変化はありませんが、英国移住から5年が経って永住権を取得できました。最近では家の修理の方に力が入ってます。そろそろ勝てるチーム入りしたいところです。(Formula 1 フォースインディア勤務)

芳賀 2000

ヨーロッパ出張になってしまったので、申し訳ありませんが欠席します。前回の幹事会に続き申し訳ありません。

吉岡 2004

当日はもてぎで耐久レースがあり欠席します。

伊東 2012

2018年に卒業しました。お誘いを頂きありがとうございます。大変申し訳ないのですが、現在浜松で研修中のため7月22日(日)は欠席させて頂きたいと思います。次回の機会がございましたらよろしく願いいたします。

構木 2012

当日は部署配属の前日につきバタバタしており時間の都合をつけることが難しいため、大変恐縮ではございますが今回は参加を見送らせていただきます。

吉川 2012

7、8月はHondaのディーラー研修期間のため土日は出勤日となり出席出来ません。9月の合宿は配属先にもよりますが、参加する予定です。

< 編集後記 >

今年も夏の甲子園高校野球を横目で見ながらの編集作業となりました。この総会特集号で、我が自動車部OB&OG会が丸5年の間にゆっくりではありますが着実に活動を積み上げてきた姿をご確認いただけましたでしょうか。

また、総会・懇親会では、1969年入学の安永さんから「東京都立大学は復活するか？」というテーマでスピーチをいただきましたが、会員の皆さまにも極めて興味深いお話だったのではないかと思います。

「ているらんぷ復刻版」は、次号はいよいよ記念すべき第10号となります。会員の皆様からのご寄稿も延べ60人となりほぼ一巡してまいりました。今後、皆様のより自由な幅広い話題をご提供いただき、世代を超えて楽しめる会報にしていければと思っています。

今後とも積極的なご寄稿をお待ちしております。

編集担当 1968年入学 佐々木

< 幹事、役員紹介 >

入学年度	氏名	Eメール	備考
1968	岡崎 裕	avion6-oka@sky.plala.or.jp	会長
1970	河本 通郎	michio_121@mbn.nifty.com	副会長
1969	小島 彰	kojima-a@w2.dion.ne.jp	副会長
1967	小西 良造	jk1rej_leo@hotmail.com	監査
1999	斉藤 弘明	hhss@be.to	
1971	坂巻 雄二	sakamaki@jn5.so-net.ne.jp	会計
1968	佐々木 功	ik.sasaki@jcom.zaq.ne.jp	ているらんぷ編集長
1995	佐藤 剛	tsatotype2@gmail.com	
1972	山崎 正喜	ma-yamazaki@amco-inc.net	書記、ドライブツアー
2000	芳賀 隆史	haga.takahumi@opal.plala.or.jp	

自動車部 創部 60 周年 記念イベントのお知らせ

60周年を記念して以下のように記念イベントを企画しています。奮ってご参加ください。

2019年2月2日(土)午後2時から約3時間

渋谷東急 REI ホテル (JR 渋谷駅八千公像から3分)

60年の歩みを映像で紹介します(予定)

会費 約1万円 現役学生も多数参加します。

問い合わせ先 上記幹事宛、
ホームページで随時情報を更新します <http://tmuac.grupo.jp/>